

# 令和3年度 通学路の緊急合同点検による対策一覧

## 【対策検討メンバー】

鯉ヶ沢警察署、西北地域県民局鯉ヶ沢道路河川事業所、西海小学校、舞戸小学校、町総務課、町建設管財課、町社会教育課、町学校教育課

## 【要請の観点】

- 観点① 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など、車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所
- 観点② 過去に事故に至らなくても、ヒヤリハット事例があった箇所
- 観点③ 保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所

## 【西海小学区危険箇所】

No.	箇所名・場所	通学路の状況・危険箇所の内容（学校から抽出）	観点	対策内容	対策担当者
1	七ツ石内科付近の交差点	信号機がなく、見通しが悪い。	②	交差点の形状変更が対策として考えられるが、現状民家などがあるため難しい。横断する場所など交通安全指導していく。	委員会
2	西海小～本町への坂道	登下校時間でも車が走っていることがあり危険である。	③	警察による取り締まり、または交通安全指導していく。	警察、委員会

## 【舞戸小学区危険箇所】

No.	箇所名・場所	通学路の状況・危険箇所の内容（学校から抽出）	観点	対策内容	対策担当者
1	K2マート横、西禰から大通りに出る交差点	横道から大通りに出てくる車と大通りを通ってきた車が衝突した事故があった。	②	県道路管理者が街路樹の切除、またはラバーポールを整備し、既に対策を図っている。交通安全指導もしていく。	道路管理者、委員会
2	学校脇スクールゾーンと学校前横断歩道	「スクールゾーン30」と「一時停止の白線」が薄くなっている。30km/h以上で走っている車も多い。	①	警察が白線等の引き直しについて依頼中。白線を引く前にアスファルトの整備も必要。横断については、十分気を付けるよう指導するか、多少遠回りでも別の場所での横断を検討する。	道路管理者、警察、委員会
3	館踏切付近	道路が複雑なことに加え、踏切が狭いので児童が車と接触する危険がある。	②	既にカラー舗装しており、色が薄くなってきたら整備し直す。町道路管理者が道の拡幅について計画している。踏切を広げるのは難しいため、交通安全指導していく。	道路管理者、委員会
4	坂本の坂	道幅が狭く、斜面が急である。歩道がなく冬季は更に歩行するのが危険である。	②	既にカラー舗装しており、色が薄くなってきたら整備し直す。道幅、斜面は対策が難しいため、交通安全指導していく。	委員会
5	上野～南浮田線の直線	見通しがよいため、スピードを出す車がよく通る。路側帯の白線がほぼ消えている。	①	横断歩道の設置、スピード制限等を検討（要望）する。路側帯についても引き直す。	道路管理者、警察、委員会
6	みどり団地～上野の道路	道幅が狭く、バスが通るため危険である。	①	路側帯を引き直す。道幅を広げるのは難しいため、交通安全指導していく。	道路管理者、委員会